栴檀

南小

双葉南小学校だより
発行日2011，9，6
№　7
発行責任者　末永幸弘

再会の集い

「再会の集い」では、子供達の大きく成長した姿が見られました。震災とその後の避難生活の苦労を通して様々なことを学んだようです。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

再会祝いの会児童発表

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

双葉南小学校　六年　山本　雅樹

「かくれろー。」

先生の声が教室にひびき渡り、ぼく達は急いで廊下に並べてあった机の下に、重なり合いながら隠れました。その光景は今でも鮮明に覚えています。

東日本大震災が起きたその日は、教室のワックスがけの予定がありました。普段通りの授業が終わり、僕たちが教室から机といすを廊下に出し、広くなった教室の雑巾がけをしようとした時に大地震が起きました。

大きな揺れがおさまってから第二校庭に逃げました。第一校庭の大きな地割れやプールがななめにかたむいている様子を見で、怖さをだんだんに感じてきて、体がガタガタ震えて不安でいっぱいになりました。しばらくして迎えに来てくれた母の姿を見たときはとても安心しました。

その夜は、母と姉とで双葉中学校に泊まりました。不安だらけの夜でした。

次の日の朝早く避難の放送があり、父を見つけて一緒に川俣に避難しました。埼玉県のスーパーアリーナに移り、だんだんと僕の心は落ち着いてきました。でも、同時に、

「これから学校はどうなるのだろう。野球ができなくなってしまうかもしれない。友達とも離れ離れになってしまったら」

と、いろいろ不安なことが心の中に一杯になり、また辛くなりました。

その後、おじさんのいる横浜に住むことになり、父と母がすぐに学校の手続きをして、野球チームを探してくれました。

新しいチームに入ってみると、チームの皆が集まってきてくれて、

「福島の地震大丈夫だった？これから一緒にがんばろう！」

と、声をかけてもらったことで、新しいチームでも頑張れると思いました。

入部してすぐの横浜市の大会に、ぼくも出場させてもらうことになりました。帽子に双葉スポ少の仲間の名前を書いて試合に臨みました。とても勇気をもらった気がしました。

そして、七月の十六・十七日に会津東山の招待試合に、双葉スポ少として参加してきました。バラバラになった仲間たちと再会して試合ができたことはとても楽しく幸せな時間でした。

今、ぼくがこうしていられるのも、周りのたくさんの人たちの助けがあったからだと思います。これからも、感謝の気持ちを忘れず、命を大切に、目標を持って前に進んでいきたいと思います。そして、また、双葉で皆が会えることを信じています。

代表発表　山本雅樹さん

卒業を祝う会より

（前略）卒業証書には、二行たった18文字しか書いてありません。何て書いてあったか覚えていますか。「小学校の全課程を修了したことを証する」と書いてあります。

皆さんの6年間の努力の証が卒業証書です。震災で7日登校できませんでしたから、6年間1213日学校に通った証です。帰ったら証書をよく見つめてください。辛かったこと、楽しかったこといろいろな思い出が浮かんでくると思います。思い出を振り返るアルバムがまだ届いていないのが残念ですが、これも間もなく届くはずです。替りに、3年間の思い出の写真を作ってきましたので、後で見てください。

最後に、皆さんへの期待をお話します。卒業とは、業（わざ）が終わることを意味します。英語では、グラジュエーションといい、ラテン語のグラダスという言葉からきています。グラダスのもう一つの意味は、一歩踏み出すという意味だそうです。卒業は一つの終了ですが、また、新しい出発でもあります。もう、皆さんは、新しい中学校で大きな一歩を踏み出しています。

今日の祝う会を区切りに、また心にけじめをつけ、与えられた新しい環境で精一杯力を発揮してほしいと思います。この震災は大きな禍でした。ですが、皆さんには、大きく羽ばたくチャンスかもしれません。全国で双葉南小卒業生の活躍を見せてほしいと思います。心から皆さんの活躍をお祈りし、祝う会のあいさつとします。

ＤＶＤ届きました

「思い出の南小」のＤＶＤの返礼の手紙、メール届きました。

末永校長先生へ

この前はありがとうございました。みんなに会いたいとずっと願っていたことがかなって、とてもうれはかったです。本当にありがとうございました。あの日をきっかけに私もがんばれそうな気がします。これからいろいろあると思うけど乗り越えていきたいです。ＤＶＤは私の宝物です。ありがとうございました。

また、みんなに会いたいです。　　中学１年　　石橋理穂様

末永校長へ

お久しぶりです。お元気でしょうか？

この度ＤＶＤを送って頂き有難う御座います。

久しぶりに懐かしい顔を拝見し、感慨深いです。

こちらの学校には南小の生徒は若松颯くんと祐樹の２人だけで寂しいと思いますが、２人とも頑張って野球をしています。

いつ帰れるか解りませんが帰れる日を心待ちにしています。

校長先生も長い避難生活になると思いますのでご自愛下さい。

有難う御座いました。　　坪井克美様